

令和7年度訪問看護スタートアップ研修 カリキュラム

	科目名	目的(ねらい)	時間	方法
在宅看護と 保健医療福祉政策	在宅看護に関わる 保健医療福祉政策の動向	社会の動向を踏まえ訪問看護の位置づけを理解する。	3	講義
	在宅看護に関わる 看護政策の動向 訪問看護制度と法的枠組み	訪問看護に関わる制度やサービス提供のしくみと看護施策の動向を理解する。	3	講義
在宅ケア システム論	在宅ケアシステム	在宅ケアシステムにおける地域包括ケアシステムの概念、背景、実現に向けた取り組み、評価など全体像を把握し、医療と介護の連携、多職種協働における訪問看護の役割・機能を理解する。	3	講義
	ステーション運営と管理、 リスクマネジメント	訪問看護事業所の運営、経営、ケアの質管理など組織的特徴を理解する。訪問看護におけるリスクマネジメントを学び、事故や災害への対処を理解する。	3	講義
訪問看護概論	在宅療養者を支援する 看護概論	訪問看護の役割、機能、特性について理解し、訪問看護の基本姿勢、訪問看護の展開、在宅における個人情報管理、主治医や多職種との連携について理解する。	3	講義
	中山間地域の在宅療養者を 支援する訪問看護の展開	中山間地域の特徴とその生活を理解し、具体的な訪問看護の展開方法(プロセス)を実践例を通して理解する。	3	講義
訪問看護対象論	訪問看護の 対象者のとらえ方	訪問看護が必要な療養者と家族の特性を理解し、その人と生活を中心にとらえ、自立と尊厳を尊重した看護の視点と基本姿勢が理解できる。	3	講義 演習
	在宅の対応困難な 家族のケア	在宅移行、在宅療養における家族の役割・機能、特徴を理解し、家族理論や概念を用いて、療養者・家族を単位としたアセスメントや家族支援ができる。	3	講義 演習
ケアマネジメント論	ケアマネジメント ーケアマネジャーとの連携ー	日本の各制度におけるケアマネジメントの基本理念およびプロセスを理解し、継続看護の視点でケアマネジメントができる。	6	講義 演習
訪問看護展開論	在宅療養者の看護過程	在宅における訪問看護過程を理解し、個別性を重視し、生活の質を高める看護実践の展開ができる。	6	講義 演習
訪問看護方法論	訪問看護師に求められる コミュニケーションスキル	在宅で必要となる人間関係やチーム医療を促進するコミュニケーションの特徴を理解し、コミュニケーションスキルを習得する。	6	講義 演習
	在宅における フィジカルアセスメント	在宅看護実践に必要なフィジカルアセスメントの知識、方法、推論のプロセスを理解し、実践できる。	6	講義 演習
	在宅療養者の 日常生活への支援	在宅看護に必要な日常生活支援の根拠、方法を理解し、療養者の個別性に応じた支援ができる。	6	講義 演習
	スキンケア・ストーマケアが 必要な在宅療養者の看護	在宅におけるストーマケア、褥瘡予防、スキンケアの考え方と実際の支援方法を理解し、実践できる。	6	講義 演習
	在宅における薬剤管理	在宅における薬剤管理の基本を理解し、服薬管理および療養者と家族の支援方法を理解する。薬剤管理の最新の動向、診療報酬のしくみを理解する。	3	講義 演習
	在宅療養者の 急変時の対応	在宅療養者の急変時のアセスメントや対応の根拠、方法を理解し、状況に応じた適切なケアを実践できる。	3	講義 演習
	呼吸療法の必要な 在宅療養者の看護	呼吸療法が必要な療養者の特徴、呼吸のアセスメント、呼吸管理と必要なケアについて理解する。呼吸療法に使用する在宅医療機器のしくみを理解するとともに、呼吸ケア技術を実践できる。	6	講義 演習
	排泄ケアが必要な 在宅療養者の看護	排尿・排便障害のメカニズムと適切な排泄アセスメントを理解する。排泄援助の技術を習得し、療養者の個別性に応じたケアが実践できる。	3	講義 演習

	科目名	目的(ねらい)	時間	方法
訪問看護方法論	栄養アセスメントと食事の支援	在宅療養者の栄養管理に関わる知識を学ぶ。栄養アセスメントと方法を理解し、根拠に基づいた食事の提案・援助が実践できる。	3	講義 演習
	摂食・嚥下の支援が必要な在宅療養者の看護	摂食・嚥下障害のメカニズムを理解し、適切なアセスメントと介入ができる。経口摂取の状況に応じた栄養摂取方法と、経管栄養法とその管理技術を習得する。	3	講義 演習
	訪問看護における感染管理	在宅における感染管理を理解し、多職種と協働しながら感染の予防と管理が実践できる。	3	講義 演習
	在宅リハビリテーション	在宅療養者の身体機能とそのアセスメント方法について理解する。療養者の生活空間で行うリハビリテーション技術を習得し、訪問看護師の役割と多職種連携について理解する。	6	講義 演習
	輸液管理が必要な在宅療養者の看護	輸液管理が必要な在宅療養者の特性に基づいたアセスメントができる。在宅での輸液管理の実際を理解し、基本的な注射技術を習得する。	3	講義 演習
	皮膚疾患と褥瘡治療	皮膚疾患について学び、治療の実際を理解する。褥瘡のステージに合わせた創傷管理と適切なケア技術を習得する。	3	講義
	慢性疾患をもつ在宅療養者の看護	慢性疾患をもつ人の特性と生活を理解し、療養者と家族に対する在宅での援助の特徴と介入技術を習得する。	3	講義 演習
	難病をもつ在宅療養者の看護	難病をもつ人の特性と生活を理解し、療養者と家族に対する在宅での援助の特徴と介入技術を習得する。	3	講義 演習
	在宅医療論	在宅医療の目的、仕組み、診療や連携の実際を理解する。医療ニーズの高いがん終末期、神経難病、重症心身障害児や医療的ケアを必要とする小児への在宅医療について学び、訪問看護の役割と多職種連携について理解する。	6	講義
	医療的ケアを必要とする小児の在宅看護	在宅で療養する医療的ケアを必要とすることも家族の特性と生活を理解し、援助の特徴と介入方法を習得する。	3	講義 演習
	認知症をもつ在宅療養者の看護	認知症について学び、認知症をもつ人と家族の特性と生活を理解する。療養者と家族に対する在宅での援助の特徴と介入方法を習得する。	3	講義 演習
	精神疾患をもつ在宅療養者の看護	精神症状のある人の特性と生活を理解し、療養者と家族に対する在宅での援助の方法と介入の技術を習得する。	3	講義 演習
	在宅看取りを支えるエンド・オブ・ライフケア	エンド・オブ・ライフケアの最新の動向と知識を理解し学ぶ。全人的緩和ケアを理解し、在宅におけるACP(Advance care planning)、看取り、グリーフケアを実践できる。	3	講義 演習
	在宅がん緩和ケアの実践	在宅がん緩和ケアにおける症状マネジメントや在宅での判断の特徴を理解し、アセスメントに基づいた介入技術を習得する。	3	講義 演習
訪問看護方法論 (演習)	在宅療養者の歯科疾患と口腔ケア	歯科口腔の知識から、病態や口腔内の状態に応じたアセスメントや口腔ケアが実践できる。訪問歯科診療の仕組みを理解し、連携における訪問看護の役割が理解できる。	3	講義 演習
	地域と医療の連携	在宅ケアに携わる職種の役割や機能を理解し、医療と介護の連携、多職種協働にむけた看護実践について理解する。	3	講義
訪問看護方法論 (演習)	事例展開	学習した知識技術を統合して、終末期・認知症・倫理的課題など、疾患や課題を持ちながら在宅で生活している療養者と家族に対する在宅看護過程の展開ができ、問題解決に必要な看護援助、多職種連携について考えることができる。	9	演習

他に、「中山間地域の訪問看護」や「生活困窮者への支援」など地域の現状や課題、解決方法を理解するための特別講義を予定しています。